



安来警察署  
丸本到署長

## 特殊詐欺が市内でも2件発生しています 怪しいと思ったら、まず相談をしてください

連日、新聞紙面などに「特殊詐欺被害」「不審電話・・・」「サイト利用料請求・・・」等の事件記事が掲載されています。これらの事件は、市内でも多発しています。自分にも起こりうるものとして注意しなければなりません。特殊詐欺の実態について安来警察署丸本到署長に話を伺いました。

### 市内の状況は

安来市内で発生している主な特殊詐欺の手法については、予兆電話を含め、「架空請求詐欺」「還付金等詐欺」があります。残念ながら市内では今年に入りこのような特殊詐欺被害が、2件発生しています。

実際には警察署に通報されていない件もあると思われるので、さらに多いものと考えています。

やはり狙われているのは高齢者。県内で見ると65歳以上の高齢者の被害が約7割となっています。しかし、アダルトサイトの架空請求詐欺などで20〜30歳代の被害が多いのも特徴です。

### 最近の手法は

名義貸しと言って、犯人側が「あなたの名義を貸してください」と話を持ちかけ、それに了解すると、その後、「名義貸しは違法だ。警察に捕まる。助けてあげるのにお金を送りなさい」と不安に陥れ

てだまし、宅急便などでお金を県外に送らせるといふ手法です。「名義を貸して」「名義貸しは違反だ」と言われたら、それは詐欺です。

いどんなことに注意すれば

特殊詐欺などの犯人は、犯行に使用した電話を警察に止められることを恐れています。そのため最初の犯行電話は番号非通知でかけてきます。ご自宅や携帯の電話を「非通知電話着信拒否設定」にすることは非常に効果があります。物理的に犯人と話さない環境をつくるということです。

その設定がない場合は、電話を常に「留守番電話」にしたり、電話番号が表示されるナンバーディスプレイサービスしておくことです。そうすれば、相手を確認してから電話に出たり、かけ直したりすることができて安心です。

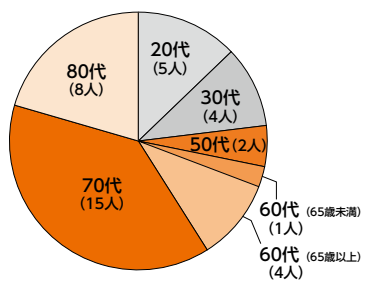
怪しいと思ったら、身近な人に相談することが大事ですね

そうです。少しでも怪しいと思ったら警察署はもちろんのこと、家族や近所の人へ相談してください。そのことが、早期犯人検挙・被害拡大防止につながります。犯人は警察などに相談させないよう言葉巧みに誘導してきます。勇気を持って相談してください。

また携帯電話で通話しながらATMを操作している人を見たら、警察に通報してください。

県内の特殊詐欺の発生状況  
(平成28年9月末)

被害件数	39件
振り込め詐欺	35件
振り込め類似詐欺	4件
被害金額	約1億2,954万円
振り込め詐欺	約9,775万円
振り込め類似詐欺	約3,179万円
人数	39人(男性36%、女性64%)



被害者の年齢別内訳

還付金・架空請求・名義貸し詐欺  
もしかしてと思ったら、  
**安来警察署**  
☎ 22-0110  
悪質商法については  
市役所市民相談室  
☎ 23-3068

2017年安来市消費生活カレンダーをお配りしています。消費者被害防止用に製作したカレンダーです。詳しくは本号と同配付の「ホットハート通信」をご覧ください。